



### 9月議会へ 一般質問 (菅井 巖議員)

## 学校給食センター「直営」を堅持すべき

教育部長「官民の役割分担整理し、最も有効な手法を検討したい」

9日の鶴岡市議会一般質問で、日本共産党の菅井巖議員が①新学校給食センター整備基本計画、②ごみの減量、③農作物のイノシン被害について、取り上げました。

### 学校給食セPFI調査状況は



調達・納品検品・調理  
洗浄部門について、直  
営で行っているが、P  
FIでは民間との役割  
分担を検討するとして  
いる。

問 市は新学校給食セ  
ンター整備について、  
PFI導入可能性調査  
を行っている。  
現センターでは食材  
定プロセスはどうか。

PFIの調査状況  
と、調査結果の公表や  
評価方法、導入調査の  
基本計画策定までの決  
定プロセスはどうか。

## 河川水害対策、避難生活支援を質問

▽25日におこなった一般質問の一  
部を報告します。答弁は後日。

### 1 河川整備と流下能力向上対策

1 藤島川は整備計画が無く、京  
田川は計画はあるが当面は事業の  
対象外。赤川は「未改修の区間が  
残っており、治水安全度が低い箇  
所が多く、近年でも頻りに洪水被  
害が発生」としてはいるが改修計  
画が不十分。

①整備計画未策定の河川は策定を  
急いで進めるべき。

②赤川水系整備計画は、全河川を  
対象に、気候変動も踏まえた計画  
に引き上げ、早急な推進を。

国には国直轄区域整備計画の速  
やかな推進を求めるべき。

2 平成30年9月議会で、河川の  
浚渫や支障木撤去などの強化を提  
言し、翌年から流下能力向上対策  
が実施された。被害発生抑止、被  
害規模縮小など成果が確認され

教育部長 受託業者と  
の間で、調査項目と方  
法、スケジュール等を  
整理して調査作業に入  
っている。

年内を中途に中間報  
告、2月末までに調査  
結果の提出を予定して  
いる。

基本計画は、調査と  
並行し庁内検討も進  
め、2月頃には総合教  
育会議で協議し、議会  
への説明とパブリック  
コメントなど経て、年  
度内に策定予定であ  
る。

問 新センターは、公

共の役割と重要性を改  
めて認識し、「公共の  
善」として、専門職員  
の技能の蓄積を活かす  
「直営」を堅持してゆ  
くべきと考えるがどう  
か。

教育部長 国の通知に  
基づき、共同調理方式  
と、民間委託等の活用  
による合理化を図ると  
されおり、様々な業務  
について官民の役割分  
担を整理し、最も有効  
な手法を検討したいと  
考える。

問 愛媛県今治市で  
は、学校給食センター  
の老朽化と改築を機  
に、単独自校方式の導  
入を決め、順次整備さ  
れている。

地域密着型の自校方  
式でこそ、食材提供の  
地産地消率の向上や、

### 「ごみ減量サンプル調査・分析不可欠

問 ごみの減量の取り  
組みにあたっては、年  
次・定期的なサンプル  
調査の積み重ねと、分  
析を活かした継続的な  
対応・対策が不可欠だ  
と考える。

問 燃えるごみの中  
の、包装容器以外のプ  
ラスチック製品・資源  
循環法の取り組みの考  
えはどうか。

地域住民や学校関係  
者が、地域づくりと学  
校づくりの観点から、  
自校施設の中で食育活  
動のために必要である  
と検討が深まった場合  
には、教育委員会とし  
ても話し合い、必要な  
検討を考えたい。

古紙やプラスチック  
製の容器包装類など、  
資源化の可能なごみ  
や、賞味期限切れの食  
品ロスなどが約3割を  
占めている傾向が一定  
把握できた。

問 燃えるごみの中  
の、包装容器以外のプ  
ラスチック製品・資源  
循環法の取り組みの考  
えはどうか。

問 燃えるごみの中  
の、包装容器以外のプ  
ラスチック製品・資源  
循環法の取り組みの考  
えはどうか。

問 燃えるごみの中  
の、包装容器以外のプ  
ラスチック製品・資源  
循環法の取り組みの考  
えはどうか。

(1面のつづき)  
市民部長 法の施行後2年を経て、検討する自治体が少しずつ増えている。

本市としても重要であると認識している。

モデル的な取組みとして、石巻市と秋田県でも調査・検討がされており、先行事例などの情報収集を行い、検証方法について検討してゆく。

問 こみステーションに出される束になった剪定樹木も結構な量だ。

剪定枝と木の分別回収や資源活用の考えはどうか。

市民部長 剪定枝は、特に夏の時期は排出量が多く、燃えるごみと一緒に収集し焼却しており、種類ごとの集計は行っていない。

市内では、剪定枝を

ペレットや土壌改良材に資源化している事業者もある。

市が分別収集、処理

### 獣害対策補助率引き上げ必要

問 先月中旬から西郷地域の砂丘畑のイノシシによる畑作物被害がひどい状況だ。

収穫を控えていたサツマイモ畑が壊滅的な被害を受けていた。

被害情報のある上郷から加茂・大山から西郷へと、山中を移動して活動範囲を広げ、生息数も増えているのではないか。

被害状況と、情報の寄せられている地域の傾向や動向、また捕獲や電気柵の設置状況はどうか。

今年度の鳥獣被害対策の支援補助金活用はどうか。

を行う場合は、費用の増加が想定され、他市の事例を調査研究してゆきたい。

農林水産部長 今年度のイノシシ被害相談は、8月末時点で本所管内で21件と、既に昨年度の19件を上回る。

大山・西郷地区は、これまで年1件程度だったものが今年度は5件と、生息範囲は広がっていると認識している。

捕獲件数は、市全体で7月末時点で23頭であり、昨年同時期の10頭から2倍以上増加している。

農作物被害防止対策として、侵入防止柵の設置と、誘引しない環境整備、捕獲・駆除による個体数減少の3つの取組による総合的実施が重要だ。

侵入防止に有効な電気柵の設置費用には、県と市で最大2分の1

## 高橋議員は東北の命綱 日本共産党を伸ばして

### 山形市で小池書記局長らが街頭演説会

日本共産党緊急街頭演説会が22日、山形駅前で行われ、小池晃書記局長、高橋ちづ子衆院議員、山田まもる3区候補をはじめ、前日に発表した1、2区の選挙区候補も勢揃いして訴えました。

小池氏は、「高橋ちづ子議員は東北の命綱という名にふさわしく、災害対応や農業を守るために力を尽くしてきた。日本共産党を伸ばしてください」と呼びかけました。



いわぶち友参院議員が市内で街頭演説

いわぶち友参院議員が来鶴し、雨のなか、パル前と平和観光前で街頭演説が行われました。(21日)



イノシシの被害に遭った西郷地区の砂丘畑(8/20)

を補助する制度があり、申請件数は年々増加している。

今年度は53件の申込みがあり、総設置延長は22kmとなっている。

現在、来年度の対策に関する補助事業の要望調査を行っている。

問 資材の高騰も続いている。

営農継続を念頭に、対策を取組み易くするためにも、補助率の引き上げが必要ではないか。

農林水産部長 昨年度は電気柵の補助42件で約280万円、今年度は53件で約380万円

### 朝日庁舎産業建設課入札結果 ( ) 内は予定価格

9月19日入札分

・湯殿山スキー場災害復旧工事 (田麦俣地内) (入札3業者)  
(株)大栄 22,580,000円 (23,770,000円) 工期~11/29 (落札率94.99%)

### 羽黒庁舎産業建設課入札結果 ( ) 内は予定価格

9月19日入札分

・令和6年度月山山麓地区水利施設等整備事業計画策定業務委託 (羽黒町川代地内) (入札20業者うち16業者辞退, 1業者無効)  
山形県土地改良事業団体連合会 5,850,000円 (6,300,000円) 期間~7/3/28 (落札率92.86%)

### 下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

9月20日入札分

・市集落排水事業 三瀬地区管路施設148号路面復旧工事 (由良地内) (入札4業者)  
(株)佐藤工務 14,780,000円 (15,090,000円) 工期~12/20 (落札率97.95%)

### 水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

9月20日入札分

・三瀬地内径100耗配水管移設工事 (三瀬地内) (入札3業者)  
松田工業(株) 12,100,000円 (12,350,000円) 工期~7/1/17 (落札率97.98%)



日本共産党青年後援会主催で「平和でナイト」が20日開かれ、芋煮を食べながら、高校生から学生、社会人まで、政治のことを語り合う集いとなりました。

となっている。  
イノシシ被害拡大と電気柵の有効性について周知され、今後の要望量の増加が予想される。

同様の補助実施をしている県内他自治体も現在、ほとんどが2分の1補助である。  
当面は現在の補助率で実施しながら、予算確保に努めたい。